

PRESS RELEASE

発行日: 2025 年 4 月 16 日

株式会社 GOODREI 発行

【新・デジタル遺産調査】故人のスマホ、遺族の 76%がロック解除に成功（GOODREI 調査）

— 鍵は故人との関係性、解除断念も多数。生前の備えの重要性が浮き彫りに。 —

株式会社 GOODREI（本社：東京都中央区、代表：末吉 謙佑、以下「GOODREI」）は、デジタル遺産相続におけるトラブルの実態把握を目的に、遺族による故人のスマートフォンロック解除に関する調査を実施しました。その結果、ロック解除を試みた遺族のうち実に 76%が解除に成功しているという、注目すべき実態が明らかになりました。



■ 調査の背景：誰もが向き合う「デジタル遺品」という課題

スマートフォンやクラウドサービスが普及し、個人の大切な情報が「デジタル資産」として蓄積される時代。しかし、持ち主の死後、パスワード等が不明なために遺族が故人の重要な情報（思い出の写真、連絡先、財産関連情報など）にアクセスできず、困惑するケースが増加しています。GOODREI は、この見過ごせない社会課題の実態を明らかにし、遺

族が直面する現実を社会に共有するため、本調査を実施しました。

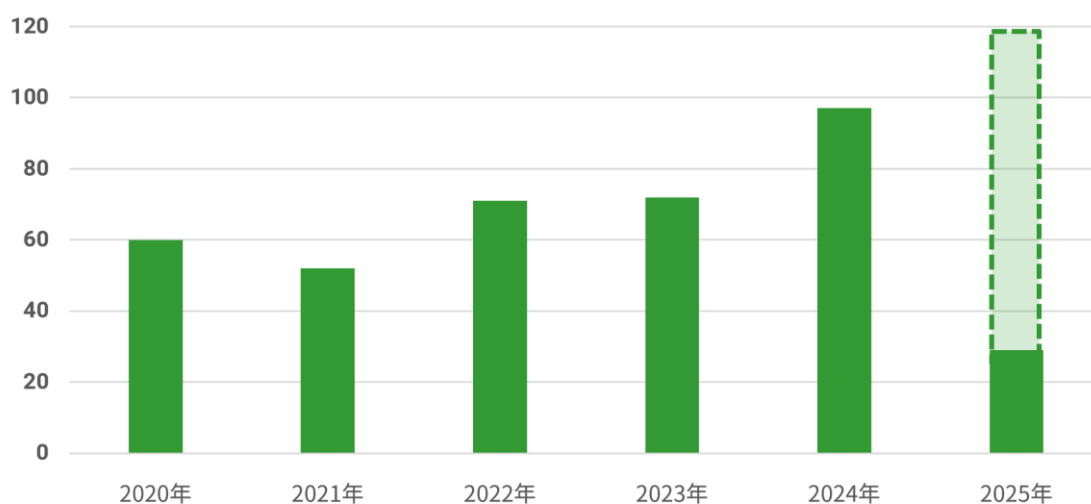
■調査結果

1. 年々増加する「故人のスマホロック解除」への挑戦

過去5年以内に近親者を亡くした方を対象に、ロック解除を試みた年を調査したところ、**2021年以降、解除を試みる遺族が増加傾向**にあることがわかりました（図1参照）。

特に2025年は、調査時点（3月）までの回答数から年間換算すると、2024年を大幅に上回り**急増する可能性**が示唆されます。これは故人のスマホ所有率の上昇や、スマホ内で管理されるデータの重要性が増していることの表れと考えられます。

図1 スマートフォンのロック解除年の分布

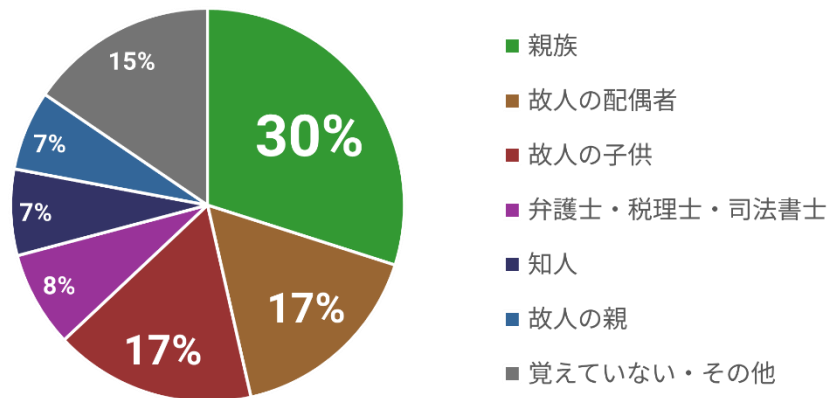


2. スマホロック解除、誰が言い出す？最多は「他の親族」

故人のスマホロック解除を誰が最初に提案したかを尋ねたところ、「他の親族」（30％）が最も多く、次いで「故人の配偶者」「故人の子供」と、やはり**身近な家族・親族からの声**がきっかけとなるケースが大半でした（図2参照）。

弁護士・税理士などの専門家や知人からの提案は少数にとどまりました。

図2 ロック解除の提言者

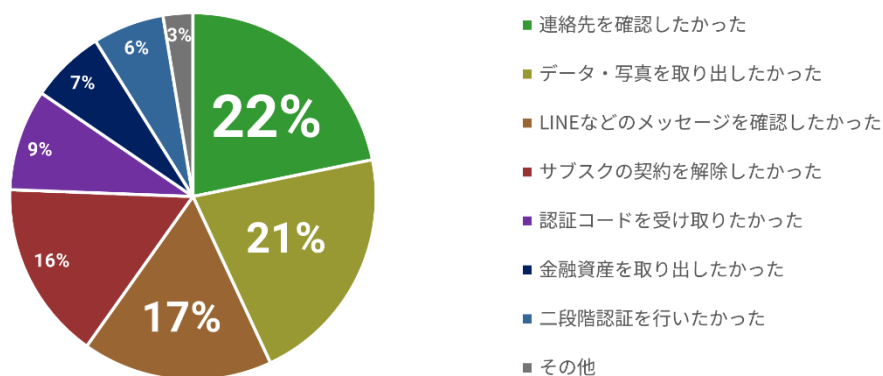


3. なぜ解除する？動機は「思い出へのアクセス」と「現実的な必要性」

ロック解除を試みた理由で最も多かったのは「連絡先を確認したかった」(22%)、僅差で「データ・写真を取り出したかった」(21%)でした。「LINE などのメッセージ確認」(16%)と合わせ、**遺族が故人との繋がりや大切な思い出を求めていること、また、葬儀の連絡や様々な手続きに必要な情報を探していることがうかがえます。**(図3参照)。

一方で、「サブスク解約」「認証コード受取」「金融資産の取り出し」といった**経済的・実務的な理由**も一定数存在しました。スマホでの金融資産管理が今後さらに一般化すれば、こうしたニーズはますます高まると予測されます。

図3 ロック解除を試みた理由

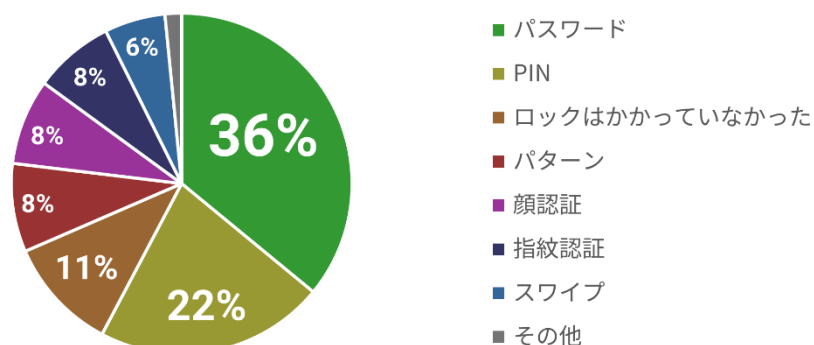


4. 主流はいまだ「パスワード/PIN」、推測の余地を残すロック方法

故人のスマホに施されていたロック方法を調査したところ、「パスワード」(36%)が最多で、次いで「PINコード」が多い結果となりました(図4参照)。

調査対象となった故人の年齢を考慮すれば、顔認証・指紋認証といった生体認証システムの利用率は相対的に低く、従来型の認証方式が主流であることがわかります。

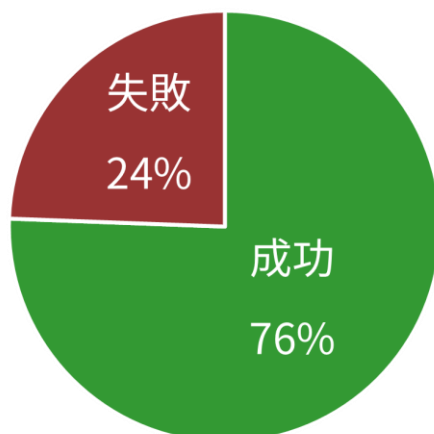
図4 ロック方法



5. 驚きの解除成功率「76%」！鍵は故人を“知っている”こと

故人のスマートフォンに施されていたこれらのロックに対し、遺族が解除を試みた結果について本調査で集計したところ、実に **76%が解除に成功していた**ことが分かりました（図5 参照）。これは予想以上に高い成功率と言えます。

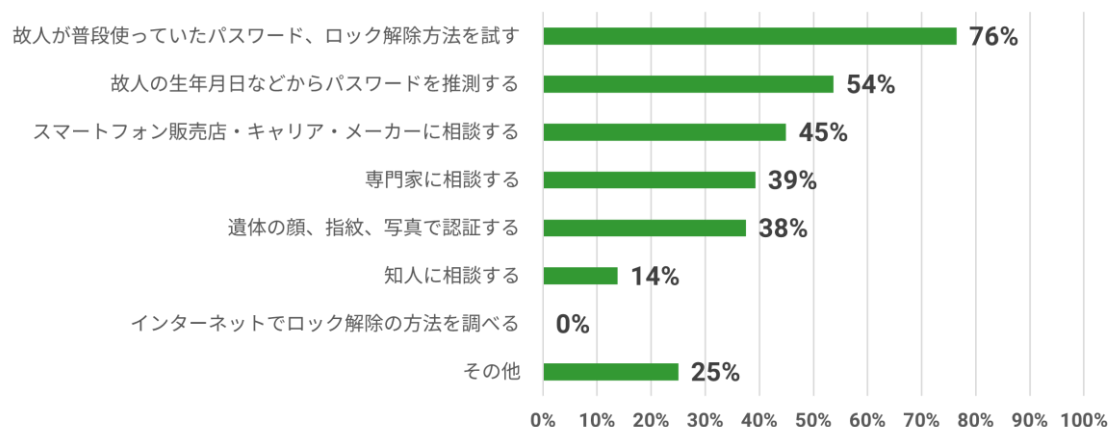
図5 ロック解除の成功率



遺族が用いた手法別の成功率を見ると、「故人が普段使っていたパスワード、ロック解除方法を試す」が76%、「故人の生年月日などからパスワードを推測する」が54%と突出して高く（図6 参照）、この結果は、**故人との関係性が深い家族だからこそ知り得た情報や推測によって解除できた**ケースが多いことを強く示唆しています。逆に言えば、遺族にと

ってそれ以外の方法での解除は極めて困難であることも、今回の調査で明らかになりました。

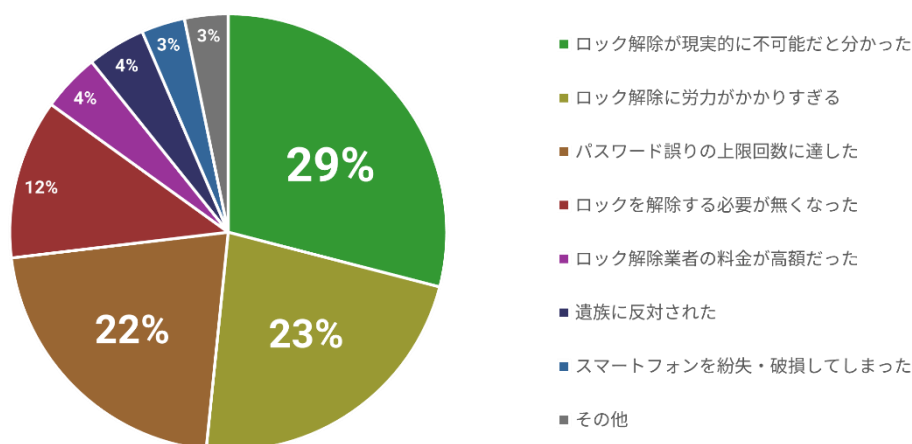
図 6 手法別ロック解除成功率



6. 解除を阻む壁：「推測不能」「手間」「回数制限」

一方で、解除に成功しなかった遺族に諦めた理由を尋ねると、「ロック解除が現実的に不可能だと分かった」「解除に労力がかかりすぎる」「パスワード誤りの上限回数に達した」が上位3位となり、合計で74%を占めました（図7参照）。パスワード等が不明な場合に自力で解除することの困難さが改めて示された形です。

図 7 ロック解除を諦めた理由

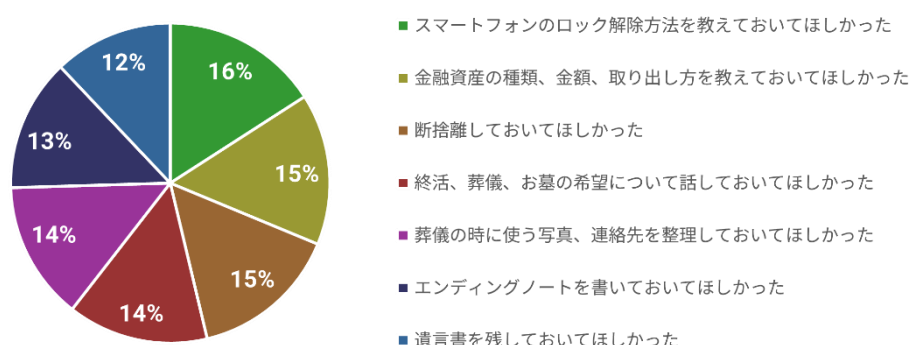


7. 遺族の本音：やはり「ロック解除方法」は知りたい、でも要望は多様

最後に、ロック解除で苦労した経験を持つ遺族に「故人が亡くなる前にしておいてほしか

ったこと」を質問しました。「スマートフォンのロック解除方法を教えておいてほしかった」が最多でしたが、「重要な連絡先リスト」「各種サービスの ID/パスワード」「財産に関する情報」なども僅差で続き、**遺族が必要とする情報は多岐にわたる**ことが明らかになりました（図 8 参照）。

図 8 故人が亡くなる前にしておいてほしかったこと



■ まとめ：デジタル時代の終活、「生前の備え」がいかに重要か

今回の調査結果は、故人のスマホロック解除が、遺族にとって感情的にも実務的にも極めて重要なプロセスであることを示しています。76%という高い成功率は、故人との関係性や生前の情報共有がアクセス可否を分けるという現実を物語っています。解除できなければ、大切な思い出が失われるだけでなく、不要な契約の継続や資産把握漏れといった実質的な不利益に繋がるリスクもあります。

GOODREI は、本調査結果を踏まえ、**生前の元気なうちから本人と家族がスマートフォンの取り扱いについて話し合い、ロック解除方法や重要情報の共有など、「デジタル終活」を進めることの重要性**を改めて強く訴えます。来るべき時に備えた準備が、遺された家族の負担を大きく軽減する鍵となるでしょう。

■弁護士 坪内清久氏コメント

IT セキュリティの現場に相對する弁護士として、スマートフォンのロック解除を試みた遺族の内、76%が成功しているという調査結果は意外でした。

スマートフォンのロック解除はパスワードを知らない状態では一般の方には極めて困難です。これだけの成功率になるということはパスワードの設定があまいスマートフォンが多かったのではないかと考えられます。実際に、調査結果の中でも「ロックはかかっていなかった」という回答が11%ありました。

本調査の対象となる過去 5 年間で亡くなった方の年齢を考えると、それほど複雑なスマートフォンのロックを行っていなかったのだろうと推測できますが、今後はスマートフォンのセキュリティもより強固なものとなり、遺族がロック解除をすることが難しくなると予想されます。

一方で、スマートフォンの重要性は増しており、デジタル金融資産の管理や各種サービスへログインするための二段階認証に利用するシーンはどんどん増えています。

こうした中で利用者本人が亡くなりスマートフォンが利用できなくなることは、遺族にとっても遺産相続や個人の生前の情報管理、または生前の契約の解約代行などの面で大きな障壁となる可能性があります。

事前の対策として、本人と遺族が生前に話し合い、信頼できる家族と重要な情報を共有しておくことがスムーズなデジタル遺産管理につながります。例えば、パスワード管理アプリを活用し、特定の家族にアクセス権限を与える、遺言書にデジタル資産の取り扱いを明記するなどの方法が有効です。デジタル遺品に関するトラブルを未然に防ぐためにも、今のうちから家族間で情報共有の意識を高めることが重要です。

Sfil 法律事務所 代表弁護士 坪内清久氏

【調査概要】

調査企画・実施: 株式会社 GOODREI

調査目的: 遺族による故人のスマホロック解除の実態把握

調査時期: 2025 年 3 月

調査方法: Web アンケート

調査対象: 故人のスマホロック解除を試みた遺族 381 名
(平均年齢 44 歳、男性 56%/女性 44%)

【株式会社 GOODREI について：デジタル遺産の課題解決パートナー】

株式会社 GOODREI は、デジタル遺品整理と暗号資産復元の専門企業として、個人から法人まで幅広いお客様をサポートしています。今回の調査で明らかになった「故人のスマホにアクセスできない」「デジタル資産の状況が不明」といった課題に対し、当社はデジタルフォレンジック技術を駆使し、以下のようなソリューションを提供しています。

- デジタル遺品の調査・整理: 散在するデジタル資産を特定し、リスト化。不要な契約の解約などもサポートします。
- スマートデバイスのパスワード解除・データ復旧: 故人のスマホや PC から、大切な写真、連絡先、各種アカウント情報などを取り出します。
- 暗号資産（仮想通貨）ウォレットの復元: パスワードを忘れた、秘密鍵を紛失した

といった暗号資産（ビットコイン、イーサリアム、カルダノ、リップル等）へのアクセス回復を支援します。

私たちは、単にデータを復旧するだけでなく、失われたデジタル資産を安全に回復・継承させるプロセスを支援することで、遺族の精神的・時間的負担を軽減し、故人の大切な想いを未来へ繋げることを使命としています。

【フューネラルビジネスフェア 2025 出展のお知らせ】

6月4日・5日に開催される『フューネラルビジネスフェア 2025』に出展いたします。当社のサービスについて詳しくご紹介いたしますので、ぜひブースへお立ち寄りください。

（イベント URL: <https://www.sogo-unicom.co.jp/funeral/fair/>）

【会社概要】

会社名：株式会社 GOODREI

代表者：末吉 謙佑

所在地：東京都中央区日本橋室町1丁目11番12号 日本橋水野ビル7階

ウェブサイト：<https://goodrei.tokyo/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 GOODREI 広報担当

news@goodrei.tokyo

【引用・転載について】

本プレスリリースの内容（テキスト、図表含む）は、以下の条件を満たす限り、貴社媒体やブログ等でご自由に引用・転載いただけます。

1. **引用元の明記:** 記事やキャプションなどに、出典として「株式会社 GOODREI 故人のスマートフォンロック解除実態調査（2025 年）」といった形で明確に記載してください。
2. **リンクの設定:** 可能であれば、ウェブサイト等での転載の場合、本プレスリリース（または貴社が参照した弊社ウェブサイト上の記事）へのリンクを設定してください。
3. **内容の正確性:** 引用・転載部分が、元の記事の趣旨や調査結果から逸脱しないよう、正確な情報発信にご協力ください。改変は原則としてお控えください。
4. **利用目的:** 引用・転載の目的が、公序良俗に反するもの、法律や法令に違反するもの、差別、名誉毀損、プライバシー侵害等に該当しないことをご確認ください。
5. **事前連絡は不要**ですが、掲載後で構いませんので、掲載媒体名や URL 等を上記広報担当メールアドレスまでご一報いただけますと幸いです。今後の情報発信の参考

にさせていただきます。